

明日へのメッセージ



出合い ふれあい

# 支え合いのまち松阪

## みんなで語り合う防災フォーラム

災害多発国日本！近い将来、大震災の発生が予想される東海地方。  
安心して暮らせるまち「まつさか」をめざして、  
イザという時、助け合える地域の「ひと」づくり、「絆」づくりを考えます。

2012年 3月16日 金 開場15:00

松阪コミュニティ文化センター

松阪市川井町690 TEL 0598-23-2111

となたでもご参加いただけます

申込み  
不要！

**第1部** 防災交流広場 15:00~18:15 自由に参加し交流する広場です

シンポジウム

**第2部** ふれあいトーク 18:30~21:00 語り合おう地域の絆づくり

主催 松阪市、松阪市社会福祉協議会

後援 三重県介護支援専門員協会松阪支部、松阪市教育委員会、松阪市地域包括支援センター、松阪市自治会連合会、  
松阪市民生委員児童委員協議会連合会、松阪市老人クラブ連合会、松阪市介護サービス事業者等連絡協議会

## 缶バッジなどの販売



被災地を応援する気持ちを形に、遡上する鮭をモチーフにした缶バッジをカプセルトイ(ガチャガチャ)で販売します。その収益は、岩手県大槌町の鮭のふ化場の復興資金として活用します。

## 「桜ライン311」協賛金の受け付け



陸前高田市の「桜ライン311」は、東日本大震災の津波到達点に桜を植え、津波の記憶を目に見える形で伝えるプロジェクト。震災を後世に伝えるこの取り組みを松阪市は応援しています。

## 「災害時要援護者

### 支援システム」紹介



地域防災関係者必見！災害時要援護者支援システムを活用した要援護者を支援する市内のとりくみを紹介します。

## 写真が語る復興への道のり



岩手県大槌町と三重県紀宝町の被災直後と現在の様子を写真で対比。各地から駆けつけたボランティアはどのように活動したのか？目で見て感じとる写真展示コーナーです。

# 第2部 シンポジウム ふれあいトーク

～語り合おう地域の絆づくり～ 18:30～21:00

## 《コーディネーター》

李 仁鉄さん

NPO法人 にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長

基調講演「今だから語り合おう、地域の絆を原点とした安心、安全の暮らしづくり」

## 《シンポジスト》

川端 伸哉さん

～被災体験から学び、松阪の人々に伝えたいこと～

岩手県大槌町社会福祉協議会 総務課係長

川本健太郎さん

～ボランティア活動の意義、気づき、共感、そして期待～

関西学院大学人間福祉学部 特任助教

小林 益久さん

～リスク分散のまち「まつさか」を！～

松阪市副市長

堀切 貴子さん

～人々はあの時どう動いたか？“地域の絆を深めるために”～

三重県紀宝町社会福祉協議会 事務局次長

## 《報告者》

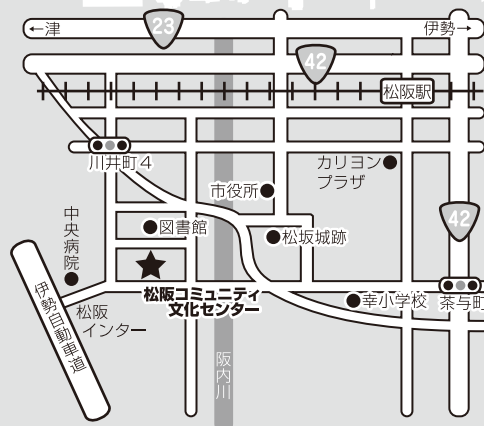
松阪市被災者支援本部のボランティアバス参加者 2名

## 人材バンク紹介(登録)コーナー

～あなたの輝く時間を重ねるシステム～

「人材バンク」は、学びの蓄積システム、地域の「人材育成」をめざすものです。あなたの経験・知識・技術などを、研修を通して更にステップアップし、その受講歴を記録することにより、人的資源を把握していきます。登録された方の記録を松阪市の財産ととらえ、さらに豊かに育み、地域に向けて活かしていくことをめざします。

※手話通訳を行います。必要な方は、当日受付にてお申し出ください。



松阪コミュニティ文化センター

松阪市川井町690 TEL 0598-23-2111